

研究指向型SU受入gPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2026年06月08日 ～2026年06月16日	日本	シラパコーン大学	・先端電子工学コース、電子工学科 ・学部3年生、学部4年生、学部2年生、学部1年生	(芝浦工業大学) 学生13名、学生バイト7名、 教員3名 (シラパコーン大学) 学生10名、教員2名	石川 博康(電気電子工学課程 先端電子工学コース)、小池 義和(電気電子工学課程 先端電子工学コース)、中野 匡規(電気電子工学課程先端 電子工学コース)



図1 研究室での活動1

タイ・シラパコーン大学(SU)サナームチャン宮殿キャンパスからの学生を受け入れ、電子工学科(先端電子工学コース)の半導体エレクトロニクス研究室(機能薄膜作製・評価等)、超構造量子物質エレクトロニクス研究室(機能薄膜作製・評価等)、電子機械システム研究室(メカトロニクス、音響応用等)の3研究室において、1研究室あたり本学学生4～5名、SU学生3～4名を1チームとして共同で取り組んだ。各研究室の研究活動に関するショートレクチャー後、研究装置(研究室設備・装置)の使用方法を学び、薄膜作製や実験回路作製を行った。その後、薄膜評価や実地測定を行い、結果の考察を行った。最終プレゼンテーションでは、各研究室でまとめた内容を発表した。今回は、参加学生・教員との質疑応答に1発表につき30分近く議論を行い、得られた結果と考察について多方向から吟味を行った。



図2 研究室での活動2



図3 研究室での活動3



図4 最終発表会